



平成 28 年 6 月 1 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 F F R I  
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 鵜 飼 裕 司  
(コード番号：3692 東証マザーズ)  
問 合 せ 先 取 締 役 最 高 財 務 責 任 者 田 中 重 樹  
( TEL. 03-6277-11518 )

## パナソニック株式会社とのIoT機器のセキュリティについての 共同研究に関するお知らせ

当社はパナソニック株式会社（本社：大阪府門真市、代表取締役社長：津賀 一宏、以下「パナソニック」）とIoT機器のセキュリティについての共同研究を開始することとなりましたので、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 共同研究の理由

IoTがさまざまな分野で加速的に広がり、私達の生活が便利になる反面、サイバー攻撃の脅威はもはやPCやスマートフォンの中だけの問題にとどまらなくなってきています。家電や自動車などさまざまなものがネットワーク化されることで、サイバー攻撃は人命にも影響を及ぼす脅威になりつつあります。

当社は、サイバー・セキュリティの研究開発企業として、また、日本における同分野でのリーディングカンパニーとして高い技術力を有し、次に起こり得るサイバー攻撃を先回りした対策技術を製品やサービスとして提供しています。また、自動車セキュリティをはじめとしたIoT機器のセキュリティに関する研究にもいち早く取り組んでまいりました。今後、IoT機器に対する攻撃者視点のセキュリティ分析や現状把握、解析対策技術の研究等の重要性はますます高まると予想され、さらに調査研究を深める必要があると考えていました。

一方、パナソニックはIoT機器に関する先進的な研究開発を行う中で、社外からの最新のIoT機器のセキュリティに関する専門的な分析ノウハウや知見も加え、問題解決に活かすことを検討していました。

今回の共同研究により、当社の高度なサイバー・セキュリティに関する専門的技術力と、パナソニックの最先端のIoT機器関連の技術力を組み合わせ、具体的な対策技術の研究開発を国内で進めることが可能になります。その成果を現状、および将来開発されるさまざまなIoT機器、製造プロセス、運用の仕組み等に適用することで、今後予測される新たな脅威に対抗してまいります。

当社は今回の共同研究を皮切りに、サイバー・セキュリティの観点から、さまざまな分野でのIoTのイノベーションが健全に実現できるよう支援してまいります。

## 2. 共同研究の概要

- 研究テーマ： IoT 時代におけるサイバーセキュリティに関する研究  
研究の目的・目標： IoT 時代に必要なセキュリティ対策を調査研究し、具体化する  
研究内容：  
・IoT 機器に対する攻撃者視点のセキュリティ分析・現状把握  
・解析対策技術の研究  
・自動車セキュリティに関する研究  
・共同研究を介したセキュリティ人材育成

## 3. 日程

共同研究契約締結日 平成28年6月1日

## 4. 今後の見通し

本共同研究による当社の平成29年3月期業績に与える影響は軽微の見込みです。今後、公表すべき事項が生じた場合には速やかに開示いたします。

以上